

【事業名】

栃木県立博物館テーマ展「おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし」

【団体名】

栃木県立博物館

【期間】

令和2(2020)年7月18日(土)～同年12月13日(日)

【参加人数】

42,800人

【内容】

おおよそ大正～昭和時代中頃までに使われた生活用具類と、栃木県内の魔よけ、疫病よけ、平癒祈願の事例を展示することで、当時から現在につながる、暮らしや道具の変化と、知恵や工夫を紹介した。展示会場内では段差をなくし、車椅子を使う方々等の低い目線でも問題ない、あるいはそれが効果的な展示方法を考慮するとともに、視覚的にも当展の意図が読み取れるような構成を意識した。あわせて、解説員が行う展示解説などにより、観覧の補助を行った。また、解説文は読みやすいフォントとサイズを採用し、当館HPにおける本展の紹介ページでは、読み上げソフトの性質に応じた読み誤りにくい記述方法を目指した。当館は施設のバリアフリー化を進め、車いす利用者も見やすい展示を整備しており、また、常設展示における多言語化アプリ「とちはくナビ」の整備により、常設展示の多言語化を実施している。

